

# クリスマスの すてきなぼうし

文・香山美子  
絵・高橋貞二



# クリスマスの すてきな ぼうし

文★香山 美子

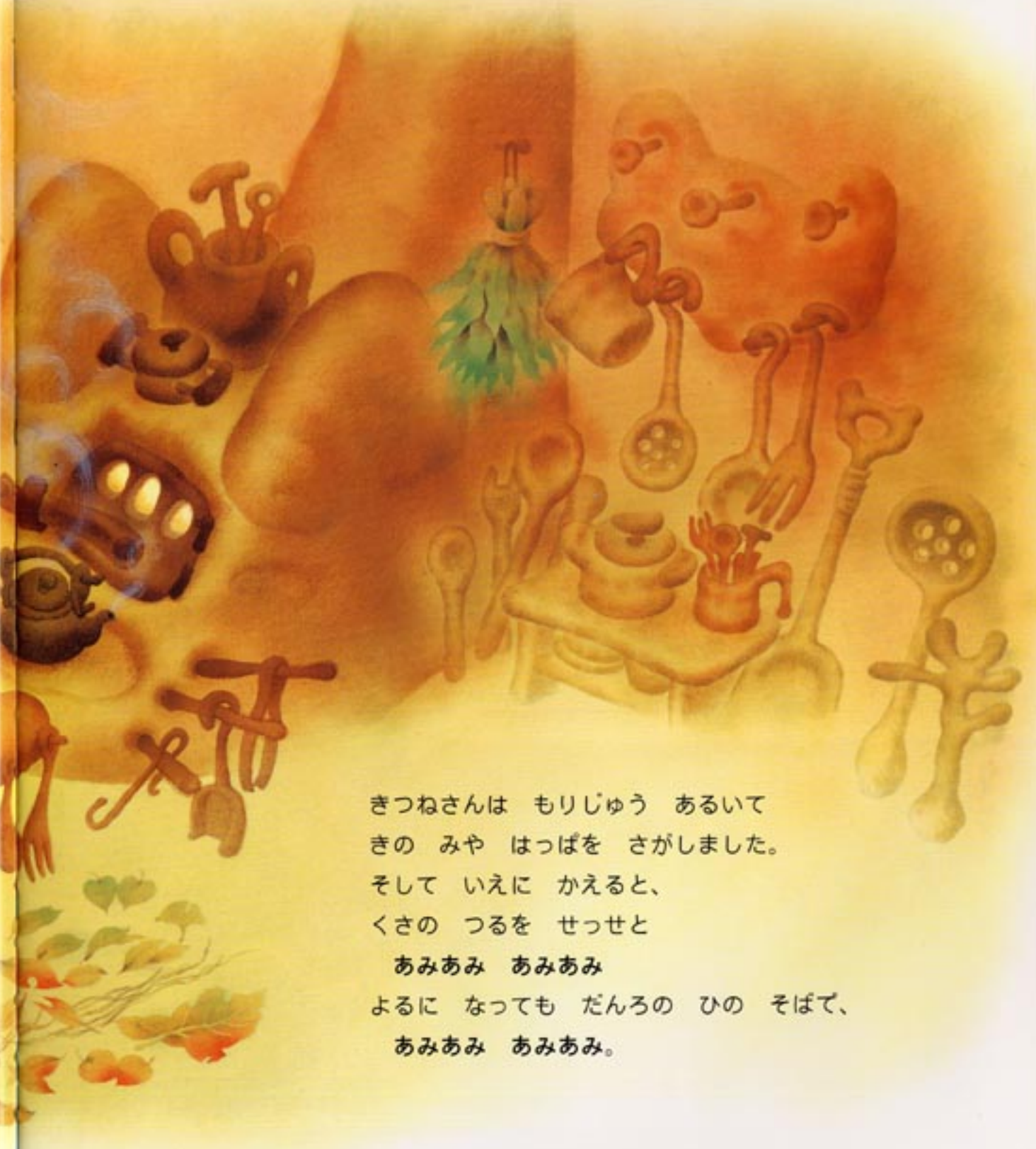
絵★高橋 貞二



女子パウロ会



きつねさんが もりに やって きました。  
ちょっと たのしい ことを おもいついたのです。  
「あかい きの みは もう ないかな。  
きいろい はっぱは もう ないかな。  
くさの つるは もう ないかな。」  
からから さむい ふゆが きて、  
クリスマスも もう すくです。




きつねさんは もりじゅう あるいて  
きの みやはっぱを さがしました。  
そして いえに かえると、  
くさの つるを せっせと  
あみあみ あみあみ  
よるに なっても だんろの ひの そばで、  
あみあみ あみあみ。



「はい できました。」  
きつねさんが つくった ものは、  
きの みや はっばの かざりの ついた  
つるくさの ぼうし。  
くさの においの する ぼうしです。  
「さあ この ぼうし だれに あげようかな。」  
きつねさんは いろいろ つくるのが すき。  
そして だれかさんに あげるのが すき。  
だから クッキーも  
いつも いっぱい やいて あるんです。





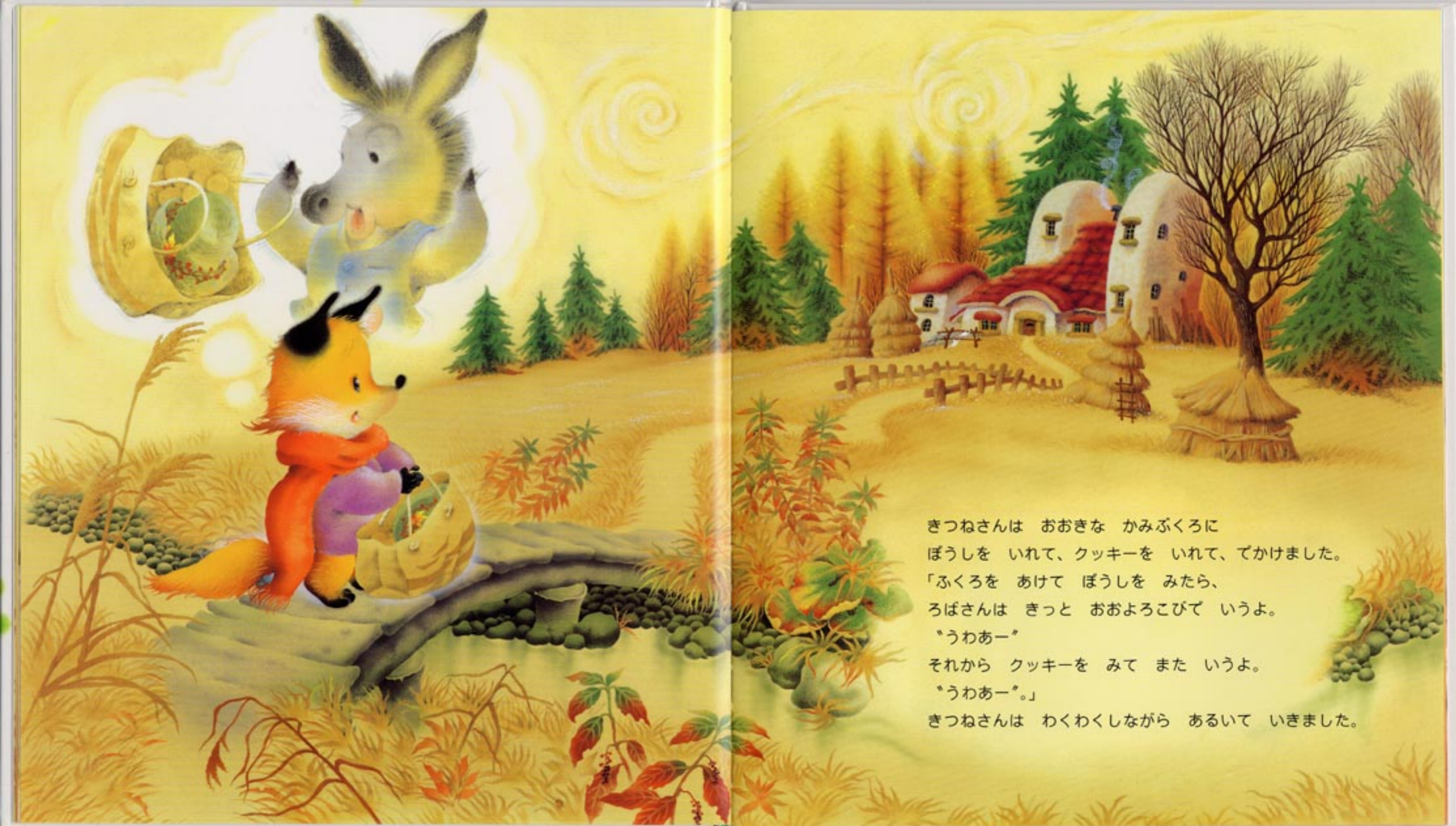
クッキー たべたべ  
きつねさんは かんがえました。  
「この ぼうし くまさんに  
あげるの は どうかしら。」  
と、おもった けれど、  
くまさんは ふゆごもり。

「では うさぎさん。」  
と、おもった けれど、  
ながい みみを だす  
あなが ありません。

「では じゅっぴきの リすさんは。」  
と、おもった けれど、  
リすさんには おおきすぎ。  
いろいろ いろいろ かんがえて  
きが つきました。

「ろばさんだ ろばさん！」  
くさの においの する ぼうしは、  
おしゃれな チョッキの ろばさんに  
きつと ぴったり。





きつねさんは おおきな かみぶくろに  
ぼうしを 入れて、クッキーを 入れて、でかけました。  
「ふくろを あけて ぼうしを みたら、  
ろぼさんは きっと おおよろこびで いうよ。  
“うわあー”  
それから クッキーを みて また いうよ。  
“うわあー”。」  
きつねさんは わくわくしながら あるいて いました。



ところが ろばさんの いえに きて みると、  
「うわあー。」

そう いったのは きつねさん。

ろばさんの へやは へやじゅう けいと の たまだらけ。

「ぼくね ふゆの ぼうしを あんで いたんだ。」

ぼうしと きいて きつねさんは

「え！」

だって わくわくしながら ろばさんに あげる

ぼうしを もって きたのに ……。

クッキーも もって きたのに ……。

